

2019年度事業計画

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

公益財団法人福岡ケーブルビジョン

2019年度事業計画

1 事業概要

当公益財団法人は、公益目的事業として地上デジタル放送を再放送している本体施設（20,080世帯）およびテレビ放送受信障害対策施設の8施設（2,540世帯）の維持管理を継続して行ないます。

収益事業は、本体施設でCS放送サービス・BS放送サービス・インターネット接続サービスの提供を継続して行ないます。

2 施策

(1) 公益目的事業

① 受信障害対策地区の加入状況調査

加入者に基本番組の地上デジタル放送を再放送していますが、利用実態は把握できていません。

施設の更新を含め、維持管理補償期間終了後の利用料の有料化に資するため現地調査を行います。

② 施設維持管理費の削減

電柱管理者が実施する電柱建て替えによる架設線路設備の移設依頼は、80件の見込みです。

移設工事が簡易に済むものは職員で施工し、施設維持管理費を削減します。

③ 幹線増幅器の電源ユニット更新

線路設備の幹線増幅器の電源ユニットを更新するため、設備更新引当金を充てて90台分を交換します。

④ 無停電電源装置のバッテリー更新

幹線増幅器数台ごとに設置されている無停電電源装置の100台は、バッテリーの更新が必要なので、設備更新引当金を充てて25台を更新します。

(2) 収益事業

① CS放送サービス

第23回理事会の平成30年度中間事業報告で承認されたデジタル通信衛星番組の3番組の放送終了と5番組の放送開始、オプション番組の2番組の放送開始を実施します。

② BS放送サービス

12月1日に開始された新4K衛星放送の再放送のサービスに用いるセットトップボックスはソフトウェアに不具合がありまして、お客様へのサービスの提供を控えておりました。

3月29日に不具合が解消されますので、当サービスの提供並びにPRを開始します。

3 加入見込

(単位：世帯)

種別	施設区分		加入数		内訳		
			年度初	年度末	加入	解約	増減
基本番組	本体施設	有料	13,150	12,970	120	300	△180
		補償	6,930	6,880	0	50	△50
	対策施設	有料	270	250	0	20	△20
		補償	2,270	2,220	0	50	△50
CS放送サービス			640	660	50	30	20
BS放送サービス			820	860	70	30	40
インターネット接続サービス			310	320	30	20	10

4 収支予算

収入は事業収入および難視対策受託収入ならびに事業外収入で 251 百万円、支出は事業費および管理費ならびに事業外支出で 245 百万円となり、収支差金は 6 百万円を見込みます。

以上

2019年度収支予算

2019年4月 1日から
2020年3月31日まで

単位:千円

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
事業費	190,686	事業収入	154,143
人件費	31,284	加入料	218
施設維持管理費	44,098	引込工事料	286
放送費	23,427	屋内工事料	2,036
消耗品費	730	利用料	119,985
諸費	1,707	機器使用料	19,451
委託費	9,386	施設使用料	2,268
広告宣伝費	4,658	諸手数料	9,899
公租公課	7,060		
加入工事費	3,136	難視対策受託収入	96,183
減価償却費	52,000	施設受託工事料	0
固定資産除却費	1,000	管理受託料	96,183
施設撤去費	0	調査等業務受託料	0
設備更新費	12,200		
難視対策委託費	0		
施設工事費	0	事業外収入	988
管理費	53,180	受取利息	938
人件費	31,032	雑収益	50
賃借料	11,034		
修繕費	1,043		
消耗品費	2,690		
諸費	7,011		
公租公課	20		
貸倒損	350		
事業外支出	800		
支払利息	0		
雑損失	100		
法人税充当額	700		
当期支出合計	244,666	当期収入合計	251,314
当期収支差金	6,648		

2019年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入金の予定 なし

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定 なし